

# 北海道副知事代表団のサントペテルブルク訪問概要 (北海道・サントペテルブルク協力発展ワーキンググループ会合)

平成30年12月10日

- 辻副知事を代表とする北海道代表団（26名）が、11月15日（木）～19日（月）の日程でサントペテルブルク市を訪問しました。
- 北海道代表団の目的は、①辻北海道副知事とマルコフ・サントペテルブルク副知事が代表を務める協力発展ワーキンググループの第2回会合の開催、②「サントペテルブルク国際文化フォーラム」への出席、③北極海航路研究機関との交流、④北海道寒冷地建築技術交流調査、⑤「ペテルフード2018」への出展、⑥サントペテルブルク市における北海道庁のネットワークづくりです。
- 第2回協力発展ワーキンググループ会合では、食、保健・医療、観光、教育、文化、北極域開発、寒冷地建築技術などの分野において協議を行い、議事録に署名しました。
- また、プーチン大統領が出席した「サントペテルブルク国際文化フォーラム」のオープニングセレモニーや都市イメージセッションに辻副知事が参加しました。
- さらに、北海道経済同友会北極海航路研究ワーキング及び北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）の幹部らとともに、北極・南極研究所やサントペテルブルク国立大学を訪問し、北極海航路を含む北極圏開発について意見交換を行いました。
- このほか代表団同行者により、北海道建設部、大学、民間企業による寒冷地建築技術の交流調査、「ペテルフード2018」への北海道ブースの出展、立命館慶祥中学・高等学校校長の第83番学校訪問及び白老町による文化交流や地域クラスタのPRなどを行いました。
- この訪問の機会に、サントペテルブルク市との交流に向けて現地での支援ネットワークを構築するため、現地に進出している日系企業や団体の方からの情報の収集や意見交換を行いました。

## ◆ 辻副知事訪問日程

- 11月15日（木） 渡 航
- 11月16日（金） 協力分野のワーキング会合開催  
北極・南極研究所及びサントペテルブルク国立大学訪問  
第2回サントペテルブルク市とのワーキンググループ会合開催  
「国際文化フォーラム」（オープニングセレモニー）への出席
- 11月17日（土） 「国際文化フォーラム」（都市イメージセッション）への出席  
辻副知事主催昼食懇談会（現地進出日系企業、団体）  
在サントペテルブルク日本国総領事主催夕食会
- 11月18日（日）～19日（月） 帰 国  
〈代表団同行者の行事〉
- 11月13日（火）～15日（木） 「ペテルフード2018」への北海道ブースの出展（16社・50品目）
- 11月15日（木） 立命館慶祥中学校・高等学校校長の第83番学校訪問
- 11月16日（金）～17日（土） 寒冷地建築技術交流調査（建築家との意見交換、建築物視察など）
- 11月18日（日）～24日（土） 白老町文化交流等調査（文化交流、地域クラスタ）

## ◆ 北海道とサンクトペテルブルク市との協議

### 1 協力分野のワーキング会合（事前協議）

サンクトペテルブルク市庁舎において、辻副知事を代表とする北海道代表团とグリゴリエフ対外関係委員会委員長はじめサンクトペテルブルク市の各委員会代表とが、ワーキンググループ会合の事前協議を実施。サンクトペテルブルクと北海道とのチャーター便の運航やサンクトペテルブルク市の観光情報代表部の開設、北極域開発の共同研究、寒冷地建築技術などの協力分野について各分野の担当者が意見交換を行った。



「協力分野のワーキング会合」

### 2 第2回協力発展ワーキンググループ会合

サンクトペテルブルク市庁舎において、辻副知事とマルコフ副知事を代表とする協力発展ワーキンググループの第2回会合を開催。今回の会合では、サンクトペテルブルク観光情報代表部の開設、チャーター便の運航を含む観光分野、立命館慶祥中学校



「議事録に署名する両副知事」

・高等学校と第83番中学校との相互訪問を含む教育分野、寒冷地建築技術、北極海航路を含む北極域開発研究分野での協力とともに、ペテルフード2018の北海道ブース出展の結果を報告し、さらに文化、保健・医療、都市インフラなど、これまでの知事会談や協力発展ワーキンググループ会合における協議内容の確認と、今後の具体化に向けた意見交換を行い、議事録に署名。

## ◆ 「第7回サンクトペテルブルク国際文化フォーラム」

- ・ロシア連邦政府主催で実施される「サンクトペテルブルク国際文化フォーラム」は、2018年で第7回目の開催。世界各国から数千人の劇場関係者、監督、音楽家などの文化関係者が集まり、文化イベントやセッションなどを行う。

#### 【開催概要】

日程 H30(2018)年11月15日(木)～17日(土)  
場所 マリンスキー2 (オープニングセレモニー) ほか  
主催 ロシア連邦政府

## 1 オープニング・セレモニー

サンクトペテルブルク市からの招待を受け、辻副知事ほか2名が出席。プーチン・ロシア大統領によるスピーチのほか、ロシアの音楽家や青少年によるオーケストラ演奏を順次披露。



「スピーチをするプーチン大統領」

＜プーチン大統領のスピーチ要旨＞

- ・ この国際文化フォーラムはサンクトペテルブルクでも最も重要な政策イベントの一つ。参加者は、第1回の300人から、今回は35,000人になった。
- ・ 文化は、政治的な違いや経済的に困難な時も、人々を結びつけ、人道主義、平等、尊厳という崇高な価値観をもたらす。教育の発展、若年層への支援、ボランティアなどの取組は、我々の文化政策の最重要事項である。

## 2 セッション「都市のイメージ：メディア空間の進歩」

サンクトペテルブルク市からの要請を受け、辻副知事ほか2名が出席。ロシアの著名なTVキャスターがモデレーターとなり、建築家、イタリア文化活動省副大臣などにより、都市のアイデンティティ形成のための意見が交わされた。



「参加パネリスト」

### ◆ 北極域研究の関係機関との交流

#### 1 北極・南極研究所

北極海航路に関する情報交換を行うため、北極・南極研究所を訪れ、北極圏開発に係る気象や地質などの基礎的・実用的な研究内容の説明を受けるとともに、北極海における砕氷船の実用実験施設を視察。



「砕氷船の実験」

#### 2 サンクトペテルブルク国立大学



「大学での懇談」

サンクトペテルブルク国立大学を訪問し、ゴンチャロフ副学長をはじめ北極海開発に関する研究を行っている大学教授などと意見交換。1999年から北極海開発・航路の研究を始め、北極に関する研究を地理、交通、経済が協力して多くのプログラムに取り組んでいることや大学と研究機関との連携の進め方などについて意見交換を行った。

## ◆ 寒冷地建築技術交流調査



「建築設計事務所での意見交換」

寒冷地技術交流の検討に向け、サンクトペテルブルク市における寒冷地建築技術現状把握のため平向建築企画監のほか大学教授や建築事業者による調査を実施。協力分野のワーキング会合に出席したほか、ロシアの名誉建築家や設計事務所との意見交換、集合住宅団地の建設工事現場及び歴史的木造建築物の改修技術の現地調査などを行った。

## ◆ 第27回国際食の見本市「ペテルフード2018」出展

北海道では、辻副知事代表団本隊の訪露に先立ち、11月13日(火)～15日(木)にサンクトペテルブルク市で開催されたロシア北西部最大の食の見本市「ペテルフード2018」に北海道ブースを初出展。約50品目の道産食品等の展示、試飲、試食によるPRを実施したブースには、現地のバイヤー等約600名が来場した。また、併せてレストランやバイヤーに対する商談会を実施し、約20件の商談を行った。



「北海道出展ブース」

## ◆ 立命館慶祥中学・高等学校校長の第83番中学校訪問



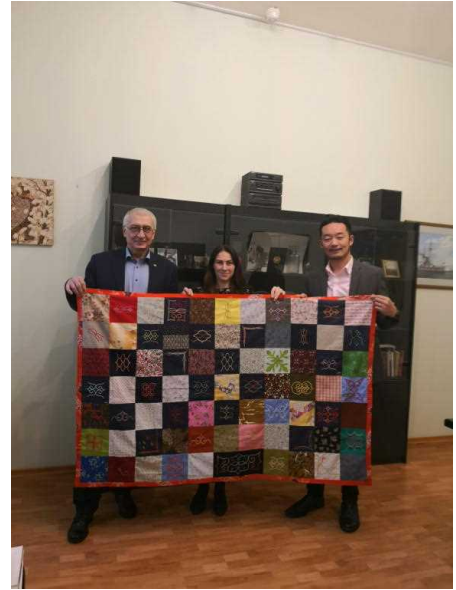
左：ポリャコワ校長、中央：久野校長

立命館慶祥中学・高等学校久野校長が学校交流の協定書を締結しているサンクトペテルブルク市の第83番中学校を訪問した。日本語の公開授業の視察、生け花や弓道など日本文化のフェスティバルの鑑賞のほか、ポリャコワ校長との面談を行い、具体的な交流内容について追加協定書に署名し、来年の両校生徒などの相互訪問に合意した。

## ◆ 白老町文化交流等調査

白老町がアイヌ文化などによる交流を進めていくため、第2回協力発展ワーキンググループ会合において、白老町におけるパッチワークによる交流やサンクトペテルブルク発祥のクリーンゲームス（ゴミ収集を通じて環境問題を考えるゲーム）などの取組事例を紹介。また、ロシア民族学博物館を訪問し、博物館所属の民族工芸サークルと白老町手仕事サークルの交流を第一歩として、住民ベースの交流を開始することで合意し、記念として白老町のパッチワークを博物館に寄贈した。

※ なお、白老町では、2020年4月24日に民族共生象徴空間（国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園等）がオープンする。



「パッチワークの寄贈」

## ◆ 辻副知事主催昼食懇談会（現地進出日系企業・団体）

今後の北海道とサンクトペテルブルク市との交流を促進していくため、現地での情報収集と北海道とサンクトペテルブルク市の取組展開に支援・協力をいただける現地



「参加者との記念撮影」

日系企業や団体とのネットワーク構築を目的として、辻副知事主催昼食懇談会を開催。サンクトペテルブルク日本商工会の構成員であるJETRO、三菱UFJ銀行、カルソニックカンセイ（日産自動車系企業）、オフィスプロペラント（コーディネート業務）に参加いただき、現地情報の収集とともに北海道サポーターズクラブ構想について意見を伺った。

## ◆ 在サンクトペテルブルク日本国総領事主催夕食会

飯島在サンクトペテルブルク日本国総領事の招待を受け、辻副知事一行が夕食会に参加。辻副知事から、これまでの北海道への支援に対する謝意を伝えるとともに、今後のサンクトペテルブルク市との地域間交流及び総領事館への協力について意見交換を行った。



左：飯島総領事、右：辻副知事